

牧会日誌ピックアップ

川口基督教会牧師 司祭 ステパノ 柳 時京

2021年

11月15日(月)

朝8時過ぎ、信徒のAさんご逝去の電話あり。10日前、ご自宅にお見舞いに行った際に、娘さんが「教会から牧師さんが来ているよ」と伝えたら、パッと目を開けて涙を流しておられた。塗油の祈りをささげ、150周年記念CDから点鐘、聖歌を聞かせた。15日夕方に通夜の祈り、翌日に葬送式を執り行う。慶弔担当のTさんと協力委員、サーバーのSさん、オルガニストのTさんと一緒に、丁寧に神様の御許にお送りした。

夜7時から大阪教区の教役者会@川口。久しぶりの対面集会で、近況を分かち合い、来週23日の定期教区会の準備を確認。

11月17日(水)

午前中、神戸松蔭中高の宗教週間クラス講話に出講。中学2年生の女子生徒31人に川口基督教会の紹介として先日放送されたテレビ大阪の映像、共同通信のユーチューブ動画を鑑賞。その後、創世記のみ言葉を読み、「聖書の人間観」について伝える。真剣に聞いてくれた。

夕方から、9月より日本側の事務局に私が加わった「日韓和解と平和プラットフォーム」のオンライン国際セミナーのための打ち合わせと本番。テーマは「朝鮮半島平和プロセスに対する評価と課題」で、「日韓市民の力で朝鮮戦争を終わらせよう！日韓市民がともに歩む朝鮮半島終戦平和キャンペーンを提案して」であった。

11月18日(木)

午前9時から聖堂で、あるバンドのミュージックビデオ撮影あり。礼拝再開に伴い聖堂の貸し出しも増えつつある。

10時よりオンライン木曜集会。塚田理著「聖公会の伝統を探る」の第3章、発展する伝統の部分を勉強。「私たちは信仰共同体の伝統の精神的核心を受け継ぎながら、改めて神様は〈今、ここで〉私たちに何を求めておられるか、今ここで〈何のために〉この伝統を受け継ぐのかを探り、実践することが肝要である」というメッセージに共感。

11月19日(金)

午後、昨年12月に「離れて祈る聖夜～コロナの年の瀬」という題で、礼拝のオンライン動画配信の様子を取り上げた読売新聞より取材のご相談あり。当時取材に来られた記者 H

さんは奈良支局に転任され、別の記者が現在の対面礼拝の様子を取材するため12月5日の礼拝に来るといふ。

11月20日(土)

午前10時より2人の洗礼志願者との勉強会。50代後半のTさんは、以前よりイギリス国教会について知っていて、ようやくここを見つけたといふ。20代のK君は、韓国から語学留学中で、将来は社会福祉専攻を望む。来月12日、主日礼拝の中で久しぶりの洗礼式を行う予定。

明日のミニバザー準備で朝早くから婦人会のメンバーが賑やかに行き交うかたわら、午後5時から来年3月に結婚式を挙げるTさんとIさんの準備会。教会の歴史やパイプオルガンの演奏に感動して「ここ」と心を決めたそうだ。

明日の主日は、子どもとともにささげる聖餐式で、一年半ぶりに聖歌とチャントを歌う。会衆席のポケットに聖餐式文、聖歌集、チャント譜をセッティングした。明日は子どもたちとともに集い、皆さんの嬉しい歌声が聖堂に響くだろう！

コロナ禍の中、中止となっていた日常が戻りつつある。忙しくなってきたが、すべてに感謝。

「慈悲深い父よ、あなたはこの僕に特別な恵みを現してくださいました。どうかともにこの恵みを深く感謝し、常に喜んで主に仕え、み名の栄光を現すことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン」(祈祷書142頁 感謝)